

10人のリーダーの価値観を探るインタビュー



NPO法人岡山マインド「こころ」代表理事
一般社団法人 お互いさま・まびラボ 副代表理事

多田伸志さん

プロフィール

氏名：多田伸志（ただしんじ）

肩書：NPO法人岡山マインド「こころ」代表理事
一般社団法人 お互いさま・まびラボ 副代表理事

経歴：1960年広島県尾道市生まれ。

長崎大学水産学部卒業後、真備町にある24時間全開放病棟のまきび病院に相談員として勤務。

2002年3月、心の「病」を抱えた当事者・家族の方々が安心して生活できる支援体制とやさしい地域づくりを目的に仲間たちとNPO法人岡山マインド「こころ」を設立。

2011年5月、グループホームと地ビール醸造所・ビアホールを立ち上げる。

平成30年西日本豪雨では、施設が被災。

その後、復旧した施設をボランティアセンターとして開放し、支援を始める。

被災したまちへの支援金を集めるために、真備町復興プロジェクト「一緒にやろう！」の立ち上げ。

真備地域の医療・福祉団体で構成する真備地区関係機関・事業所等連絡会「真備連絡会」の一員として同年11月には、連絡会が運営する復興を支援する拠点「お互いさまセンターまび」をオープン。

電話相談、町内の「移動支援」「生活支援」や真備町公民館駐車場での住民交流会を毎月開催。

2019年5月に被災したまちを支援するまちづくり会社「一般社団法人お互いさま・まびラボ」を設立。



共に、生きる 岡山マインド「こころ」

私たちは倉敷地域で暮らす、心の「病」を抱えた当事者・家族の方々が安心して生活できる、支援体制とやさしい地域づくりを目的に、平成14年3月に設立したNPO法人です。

現在、私たちの活動には大きく二つの柱があります。一つは当事者による自助・就労活動であり、精神障がいを抱えた私たちが自己実現できる世界を作ることです。障害者として「隠すもの」「与えられるだけ」の存在から、「仲間とともに」「ボチボチでも尊厳を持って」、自分たちの暮らしを作りながらゆっくりと活動しています。安心して暮らせる拠点作りと、働きたい人には「障害年金プラス5万円」を目標に、まずは自分たちで就労の場作りを目指しています。



岡山マインド「こころ」に お金をください

多田伸志

7月7日(土)は忘れられない日になりました。
西日本豪雨で倉敷市真備町は水に沈みました。

真備町は倉敷市の北西にある人口2万3千人ほどの「顔が見える」まちです。高梁川と小田川が交わる真備町はいくども恐ろ感を体験してきました。治水技術が十分でない時代には、人々の居住圏と生産圏(田畑)は明確に区分され、恐ろしい洪水から身を守りながら、一方で洪水による田畑への栄養分供給という、ある種自然と共存してきた土地です。40年前にも洪水を体験しましたが、私たちの記憶は薄れ、災害をいごととし、自然をいがいにしていったのかもしれません。

私たちNPOの法人岡山マインド「こころ」は2002年、真備町で「精神障害者」と言われる仲間たちと産声を上げました。20名の精神障害当事者が正会員のNPO法人で、活動の中心は当事者。随分、私たち前に苦勞しながらまことに出る、辛いものは自分たちでつくる。2011年、私たちは念願のグループホームと地産地消型・カフェを立ち上げました。地域のみなさんも、だんだん挨拶をしてくれるようになりました。まちの高齢者の人たちへ存員の配達ボランティアを始めました。「マインド親子クラブ」もできました。若い

お母さんたちが自分の子どもを私たちに預けてくれるようになりました。コンビニの店長さんは、困ったらマインドの当事者の人に相談するようになりました。こんなまちができてきた。16年かけてやっと、そのまちが水に沈みました。

私たちは新たな取り組みを始めたばかりでした。倉敷にある岡山大学資源植物科学研究所が開発した大豆を倉敷で栽培し、ソーラの原料となる麦芽に加工し、本物の倉敷生まれの地ビールを醸造・販売する準備をしていました。昨年新築したばかりの麦芽を作るプラントを備えた作業所も全壊。グループホームも部屋が水に沈みました。マインドの仲間たち、スタッフのみなさんも被災しましたが、幸い全員無事でした。救われました。

まちの中にはまだまだ泥まみれの家々が立ち立っています。この一か月、全力でト・ト・トの被災ごみを運び出し、ボランティアのみなさんとつなげてきました。家の中が空っぽになってボヤキ口を開けたムシの糞のような家々。夜になるとまちから音がしません。灯りもありません。田んぼのカエルも鳴かないまじ。スーパーもコンビニも、美容院も電気屋さんも、

真備町復興プロジェクト

「一緒にやろう！」

「仲間」と「音楽」と「ビール」

うどん屋さんも喫茶店も、自動販売機もすべてがなくなりました。誰もいないまち。私たちだけが救われても、まちが息を吹き返さなければ何にも変わりません。

町内まわりの小学校の遊樂用には人があふれています。みんなこのまちが好きで、速くの遊樂用から戻ってこられています。真備は本当にいいまちです。「このまちでもう一度、みんなで暮らそう」。ダイナミックな復興へのダイナミックロードマップと早急に行わないと思います。復興のテーマは「仲間」と「音楽」と「ビール」。ここから始めようと思います。「仲間」は居酒屋と夜更けをつくり出し、「音楽」と「ビール」は笑顔を増やします。

私たちが大きく被災しましたが、私たちは真備町と一緒に復興していこうと思っています。小さなお店がなくならないように、小さな家が立ち上がるように、それを実現するために必要な「お金」をマインドにいただきたいのです。

真備町に人がいなくなる前に、
故郷がなくなる前に、必ず。

日本全国のみなさんに呼びかけます。真備町を助けてください。そして新しいまちづくりに自由に使えるお金を私たちNPO法人岡山マインド「こころ」にください。活潑に、今、お金を必要とし、今、大きな決断を迫られている人たちにお渡しします。「一緒にやろう」を届けたい、よろしくお願いたします。以下に振込口座を記します。

中国銀行 真備支店 普通預金
口座番号:2511630
口座名義:真備町復興プロジェクト「一緒にやろう」
代表 多田伸志
(Vポイントアッププログラム・ポイント・ポイント)

※銀行振り込みで振込書をご入力の際は、おそれいりますが、名前、住所、電話番号、振込みの目的と金額を下記まで、メールまたは郵便でお送りください。

このお金は岡山マインドの復興には使いません。真備町(やま)に残り、被災した家を改修、助産する方々に義援金として直接お渡しします。国や自治体からの支援金だけでは、改修できません。解体して町を返さずしたい、そんな人々たちを支援したいのです。金額はこちらで基準をもうけて、公正に配分します。一年後をめどに、私たちは地域のより多くの方と連携して、継続性のある復興のための基金をつくらせたいです。どうかそれまでをつないでください。

また、年に1回真備で開催予定の「音楽と地ビール」イベントの運営にもお力を貸してください。イベントが決まりましたら、岡山マインド「こころ」のホームページでご案内しますので、復興してゆく真備の姿をぜひ目撃に来てください。男の料理もお話しできますが、私たちは真備町と一緒に立ち上がり、それが「ともに生きる地域共同体」のモデルになるところ、その時がお話しになると信じておんていします。

今後について

歌手の武井雄さん、ハンセン病療養所大島青松園でコンサートを開き続けて18年、私たちマインドをいつも応援してくださる同志です。沢さんがマインドのビールを売りに入って下さるモンパのキヨサクさんと一緒に、真備でうたいたいとおっしゃっています。先日も真備の遊樂用になっている小学校でピアノを弾いてくださいました。

本プロジェクトの賛同者

沢 知恵、キヨサク(MONGOL800)、これからもっ(笑)

NPO法人 岡山マインド「こころ」

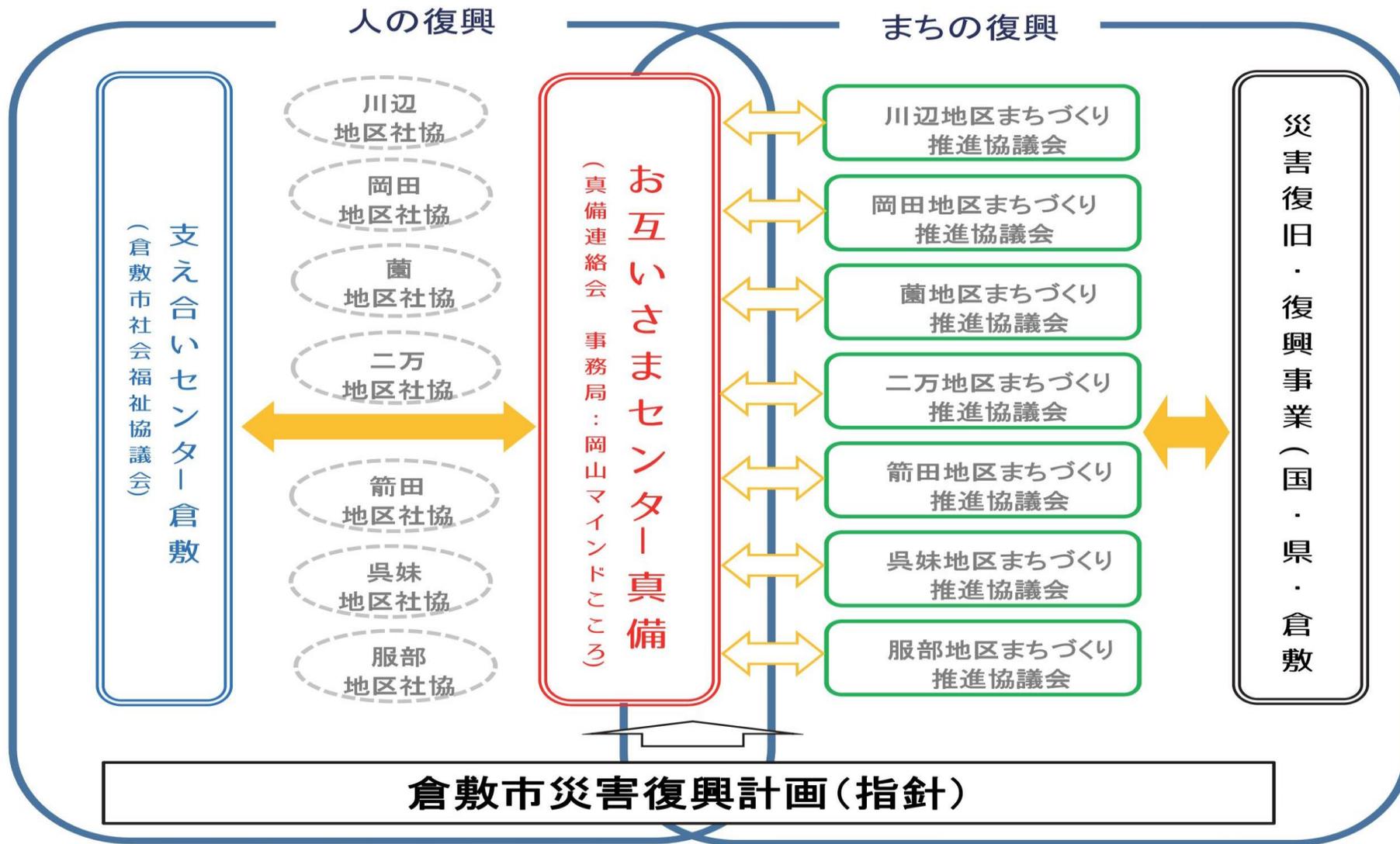
代表理事 多田 伸志

〒710-1301 岡山県倉敷市真備町前田1679番地2

TEL:086-697-0205

多田携帯:090-4653-1150

E-mail:mindkckoro@mbr.nifty.com





価値観

- 1 ありのまま、自由であること
- 2 多様性
- 3 半径30 c mの幸せ



価値観を表すエピソード

1 ありのまま、自由であること

グループホームを作るために
説明会を行ったが
地域の中で反対運動が起こった

「どんな人間で何をしているのか
知ってもらうことが大事だ！」

「隠さず外に出る」

- ・ 地域の人たちと一緒に毎年溝掃除
- ・ 環境委員さんと花壇植え替え
- ・ 地域のイベントに出て行く
- ・ 音楽コンサートを行う

「よそ者から地域住民に」

当事者たちの自立
仲間同士での共助



価値観を表すエピソード

2 多様性

教員であり活動家である
父親の色々な知り合いが
家に居候していた
(部落解放運動に取り組む)

父親や一色先生の
何かを変えようとしていること
に共感し、追いかけていた

「お前たちが新しいものを作れ」
「外へ出て、精神医療では出来ないことを作れ。」
「本気でやれ、失敗した時は責任を取ってやる」

多様な変化を受け入れることが
自信に繋がる



今力を入れている事

- 真備町の復興
- 新しい実験（世代交代）
- 地域包括ケアシステム
- 要支援者が置いてけぼりにならないまちづくり



次世代のリーダーへ提供できる物

- 経験、体験の場を共有すること
- 仲間づくりの応援がしたい



次世代のリーダーへのメッセージ

- 自主性権利を取り戻してほしい、
そのための仲間づくりを。
- 体験を重ねること